

阿南工業高等専門学校		開講年度	平成30年度 (2018年度)	授業科目	建築史	
科目基礎情報						
科目番号	0113		科目区分	専門 / 選択		
授業形態	授業		単位の種別と単位数	履修単位: 1		
開設学科	建設コース		対象学年	5		
開設期	前期		週時間数	2		
教科書/教材	カラー版図説建築の歴史 西洋・日本・近代史 (学芸出版社)					
担当教員	池添 純子					
到達目標						
1. 日本の伝統的建築を理解し、部材名を説明できる。 2. 日本の各時代の住宅について理解し説明できる。 3. 西洋における各時代の代表的建築名を挙げ、その背景や特徴を理解し説明できる。 4. 西洋における近代建築の背景や過程を理解し、代表的作品を説明できる。						
ルーブリック						
	理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベルの目安	最低限の到達レベルの目安(可)			
到達目標1	日本の伝統的建築について図の表現を用いて説明できる。	日本の伝統的建築を理解し、部材名を説明できる。	日本の伝統的建築について、理解が不十分で部分的にしか説明できない。			
到達目標2	日本の各時代の住宅について体系的に理解し説明できる。	日本の各時代の住宅について理解し説明できる。	日本の各時代の住宅について、理解が不十分で部分的にしか説明できない。			
到達目標3	西洋における各時代の代表的建築名を挙げ、その背景や特徴を体系的に理解し説明できる。	西洋における各時代の代表的建築名を挙げ、その背景や特徴を理解し説明できる。	西洋における各時代の背景や特徴について、理解が不十分で部分的にしか説明できない。			
到達目標4	西洋における近代建築の背景や過程を理解し、代表的作品を複数説明できる。	西洋における近代建築の背景や過程を理解し、代表的作品を説明できる。	西洋における近代建築の背景や過程について、理解が不十分で部分的にしか説明できない。			
学科の到達目標項目との関係						
教育方法等						
概要	日本と西洋の建築について注目する。建築が成立するために関する背景・風土・気候・材料等の自然条件や社会制度、さらには周辺諸国がその国の建築に与えた影響について学ぶ。そして、近代建築の世界的な主流となった西洋建築の背景や成り立ちについても学ぶ。					
授業の進め方・方法	【授業時間30時間】					
注意点	本科目は建築士試験の受験資格要件として定めた指定科目であり、修得することにより実務経験年数などの受験資格が有利となる。					
授業計画						
	週	授業内容	週ごとの到達目標			
前期	1stQ	1週	日本建築史	石器時代の住宅について理解し説明できる		
		2週	日本建築史	神社建築について理解し説明できる		
		3週	日本建築史	仏教建築について理解し説明できる		
		4週	日本建築史	古代の住宅について理解し説明できる		
		5週	日本建築史	城郭・茶室建築について理解し説明できる		
		6週	日本建築史	中世の住宅について理解し説明できる		
		7週	日本建築史	近世・現代の住宅について理解し説明できる		
		8週	中間試験			
	2ndQ	9週	西洋建築史	古代オリエント・エジプト建築について理解し説明できる		
		10週	西洋建築史	古代ギリシャ・ローマ建築について理解し説明できる		
		11週	西洋建築史	ビザンチン・ロマネスク・ゴシック建築について理解し説明できる		
		12週	西洋建築史	ルネサンス・バロック・ロココ建築について理解し説明できる		
		13週	近代建築史	近代建築誕生前について理解し説明できる		
		14週	近代建築史	近代建築運動・近代デザイン運動について理解し説明できる		
		15週	近代建築史	摩天楼建築・近代主義建築について理解し説明できる		
		16週	期末試験返却			
モデルコアカリキュラムの学習内容及到達目標						
分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週	
評価割合						
	定期試験	小テスト	ポートフォリオ	発表・取り組み姿勢	その他	合計
総合評価割合	70	20	10	0	0	100
基礎的能力	0	0	0	0	0	0
専門的能力	60	20	10	0	0	90
分野横断的能力	10	0	0	0	0	10